事例No.	847
公表年度	R1
団体の属性	町村
団体名	高知県黒潮町

事例区分	公共施設管理

タグ	・消防・防災 ・公共施設活用 ・公共施設等総合管理計画

事例種類	緊急防災・減災事業

事例内容・タイトル

備蓄倉庫設置事業（H30～R元年度計16か所）

出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き

緊急防災・減災事業 ④

高知県黒潮町（人口1.1万人）「備蓄倉庫設置事業（H30～R元年度計16か所）」

事業の概要

・災害時における防災拠点の安全化を図り、防災・減災を加速化させるため、想定津波高よりも高所の津波避難場所に備蓄倉庫を整備して備蓄を進める。

・黒潮町地域防災計画（H27.3策定）に位置付け。

整備の必要性・効果

・黒潮町は、南海トラフ巨大地震の被害想定で津波高が最大34メートルとなっている。

・津波災害時には各地域が孤立することが予想されるため、それぞれで独立して活動できる体制を構築する必要がある。

・被害想定に基づいて避難場所の見直しや協議を住民と行い、整備箇所を決定。

施設の概要

・総事業費　：21.4百万円

・うち緊防債：21.3百万円

・規格:間口4.4m、奥行2.3m、高さ2.6m

・計16か所の津波避難場所に備蓄倉庫を設置

・倉庫内には、炊き出し用資機材や担架、簡易トイレ、発電機、災害用テント等を備蓄

外観



内部

